



多田 龍吉 議員

- 1、豪雨時の排水対策について
- 2、一部の災害公営住宅の防風対策について

**Q** 近年のゲリラ豪雨に万全を！  
**A** ハザードマップを作成し周知

**Q** ①近年のゲリラ豪雨は、かつて経験したことのない降雨で甚大な被害になることから、予想冠水区域などのシミュレーション必要。

**A** ②長堀排水路の土砂除去で排水障害の解消を。  
 ③蓋がけ排水路の点検の有無と対策について。

**市長** ①近年の異常気象によるゲ

リラ豪雨で甚大な被害が発生している。本市においての対応として、予想冠水区域及び冠水高などをシミュレーションした結果を基に、被害予測及び避難経路等を示したハザードマップを作成し全戸配布等で周知を図る。  
 ②震災後、がれきの撤去と併せ一部区間浚渫したが、水路を越水する状

況でないので、土砂の堆積状況を確認しながら適切な維持管理をしたい。  
 ③矢本地区には国道や市道に蓋がけし道路敷きとしている箇所が多数あるが、土砂の堆積状況は確認できる構造となっており、粗大ごみ等は見受けられない。今後も継続的な点検を実施する。



▲土砂等が堆積している長堀排水路



▲1回で全身を調べられる病院で早期発見

- 1、がん検診の受診率を高めよ
- 2、復興団地の整備は環境整備も重要視せよ
- 3、給食に原発事故対策のメニューを



佐藤 筐子 議員

**Q** がん検診の受診率を高めよ

**A** 受診率向上の施策を展開する

**Q** 前回の九月定例会において検診の結果が参考資料として渡され、各種がん検診の再検者受診率が低い結果がわかった。早期発見・早期治療により完治できるがんもある。受診率を上げる工夫をすべきでは。

**A** 市長 資料で配布した各種受診率については、市の集団検診を受診した市民のみの受診率である。職場等での検診において受診した場合は含まれていないため10%台の低い受診率となっている。  
 平成28年度各種検診申し込みの際に市民を対象としたアンケートを参考に受診率を推計すると平均で約43%となり、厚生労働省で目標としている

50%に近い受診率となっている。

がんの早期発見に向けて市報に記事を掲載し、受診機会の拡大として土曜日と夜間の受診日を継続しながら平成29年度から試行的に託児サービス検診日を実施。未受験者に対しては、検討中である健康ポイント事業でポイント付与も検討する。